



## 学校文化を醸成する「代表委員会」

一昨日5日(水)に第一回代表委員会が行われました。代表委員会は、高学年を中心とした、各学級の代表、各委員会の代表、運営委員会によって組織します。また、必要に応じて各クラブの代表やたてわり班の代表等の参加も考えられます。



さて、昨日の代表委員会で話し合った議題は、「帯西わくわく集会をしよう～全校かくれんぼ」です。11月上旬に、「全校かくれんぼ」を運営委員会で計画しています。そのための話し合いを代表委員会で行いました。

鬼は誰にするか、どうすれば見つかったことになるのか、復活権はあるのか…などなどたくさんの意見が出し合われました。この話し合いの結果を、運営委員会でまた熟議しながら、全校かくれんぼに活かしてくれることでしょうか。全校のみんながわくわくするようなことを提案し、みんなで話し合い、合意形成することで、生活向上に繋がります。また、決めたことを実行することで、「学校生活がより『わくわく』することに繋がった」といった、自分たちで成し遂げた手応えを積み重ねていきます。その結果、自己有用感を獲得し、子供たち自らが解決しようとする意欲や態度を育て、代表委員会の価値を高め、各学級会での話し合いも充実していくといった好循環を生み出します。このように、子供たち一人一人の活躍によって学校文化は醸成されていくのです。

## 認知症サポーター養成講座～4年生～

昨日6日(木)、4年生が「ささえりあ帯山(熊本市高齢者支援センター)」から講師を招き、認知症サポーター養成講座を受講しました。4年生は総合的な学習の時間の中で「福祉」を学んでいます。そこで、高齢者や障害者の方々とのかかわり方を学んでいきます。今回は、Zoomでささえりあ帯山のスタッフから①おじいさんやおばあさんについて知る ②認知症について知る ③認知症の人の気持ちや接し方を知る という内容を学びました。例えば「老化」と「認知症」との違いや「認知症」の方との接し方をグループで考え合うなどの場面もありました。受講した子供たちは、「認知症にはマイナスイメージを持っていたけど、これからは自分にできる手助けをしたいです。」と感想を述べていました。また、受講後にプレゼントされた「認知症キッズサポーター」のリストバンドを校長室に見せに来てくれた子供もいて、受講して満足気な表情でした。

認知症になっても周りの人の**助けがあれば**生活していくことができます

